

令和 8 年度枚方寝屋川消防組合運営方針

令和 8 年 7 月
枚方寝屋川消防組合

1 運営方針

令和8年度は第5次将来構想計画後期事業計画の初年度であり、「安全・安心を実感できるまち～とものつくる～」の実現のためにも、組織一丸となって防火・防災対策の推進、消防防災体制の充実強化、救急医療体制の推進などに取り組みます。

2 令和8年度歳入歳出予算

	令和8年度予算額	令和7年度予算	増減額
市民・事業所の防火・防災意識の高揚と自助・共助の醸成 関連経費	9,677	65,228	▲ 55,551
地域防災力強化事業経費	7,984	63,602	▲ 55,618
住宅防火安全対策事業経費	1,389	1,267	122
防火対象物安全対策事業経費	58	58	0
自主保安体制構築事業経費	246	301	▲ 55
あらゆる災害から市民を守るための消防防災体制の強化 関連経費	565,593	3,214,894	▲ 2,649,301
消防防災拠点整備事業経費	43,351	0	43,351
消防防災体制強化事業経費	291,448	322,546	▲ 31,098
大規模災害対応強化事業経費	20,402	18,272	2,130
指令管制業務充実強化事業経費	210,392	2,874,076	▲ 2,663,684
市民生活に安心感を与えるための救急医療体制の推進 関連経費	130,920	125,432	5,488
救急体制充実整備事業経費	46,790	41,942	4,848
救急医療連携事業経費	82,170	82,331	▲ 161
予防救急事業経費	1,960	1,159	801
I C Tを活用したスマートな消防行政の構築 関連経費	17,408	14,812	2,596
スマート消防事業経費	17,408	14,812	2,596
すべての職員が活躍できる魅力あふれる職場環境の整備 関連経費	118,701	91,805	26,896
職場環境整備事業経費	118,701	91,805	26,896
持続可能な行財政運営 関連経費	7,578,799	6,750,488	828,311
組織体制整備事業経費	7,374,083	6,490,466	883,617
消防施設の整備事業経費	204,716	260,022	▲ 55,306
合計	8,421,098	10,262,659	▲ 1,841,561

3 予算の柱・主要事業

1 命を守る現場対応力の強化

市民の命、隊員の命を守るための車両、資機材等に係る予算を最優先に配当する。

本消防組合においては**絶対に殉職者を出さないために必要な措置**、酷暑などの影響によってますます過酷となる**活動環境を改善するための必要な措置**を講じる。

主要事業	概算費用
消防車両更新事業（救急車 3 台）	120,579 千円
安全管理用資器材整備事業	4,693 千円
ヒートストレス対策事業	149 千円
消防救急デジタル無線更新事業	27,885 千円

2 職員が働く環境の整備

職員が勤務しやすい環境の整備に必要な措置を講じる。

庁舎のトイレや浴室等の水回りの計画的な修繕には優先的に予算を配当する。

庁舎の修繕については、将来負担を考慮した**長寿命化、保全**を計画的に進める。

主要事業	概算費用
庁舎 LED 化事業	※8,421 千円
働く環境の整備事業	5,800 千円

※総額 42,101 千円（令和 8 年度から 5 年リース契約）

3 デジタル時代の組織への変革

仕事の進め方、組織・人事の仕組み、組織文化・風土そのものを変革し、**全庁的にデジタル時代の組織へと変革するための措置**を講じる。

主要事業	概算費用
文書管理システム整備事業	※0
マイナ救急事業	2,573 千円

※総額 93,980 千円（支払期間は令和 9 年度から 13 年度まで）

4 第5次将来構想計画の基本目標ごとの方針

基本目標 1

市民・事業所の防火・防災意識の高揚と自助・共助の醸成

令和8年度予算額 9,677 千円

①地域防災力強化事業

7,984 千円

大規模災害用消防資器材備蓄庫資器材購入

大規模災害発生時に参集職員及び市民が活用するための消防資器材の充実・強化を図り、災害対応力の強化及び市民の自助・共助の意識を醸成する。

消防団との連携強化

消防団と合同での林野火災や地震、大規模災害を想定した訓練などを実施する。

②住宅防火安全対策事業

1,389 千円

全庁的な住宅防火・防災

本消防組合のあらゆるリソース（消防資源）を投入して住宅火災による死者を軽減する。



感震ブレーカーの普及促進

市民に対して感震ブレーカーの重要性の理解を深めることで認知度の向上を図り、普及促進を図る。



③防火対象物安全対策事業

58 千円

令和8年度立入検査基本方針

査察対象物の防火管理者や関係者に火災予防の意識を醸成し、自主的な防火体制の構築を促す。

④自主保安体制構築事業

246 千円

事業所が自ら危険物施設の維持管理状況についてチェックする制度を構築し、事業所の自主保安意識の醸成を図る。

基本目標 2

あらゆる災害から市民を守るための消防防災体制の強化

令和 8 年度予算額 565,593 千円

①消防防災拠点整備事業

43,351 千円

枚方消防署建て替え民間活力導入可能性調査等

枚方消防署新庁舎建設の具体化に向け、「枚方消防署新庁舎整備基本計画の策定」と「枚方消防署新庁舎整備に係る民間活力導入可能性調査」を委託する。

②消防防災体制強化事業

291,448 千円

主力車両の更新（主要事業）

車両更新計画に基づき、枚方東本署、北山出張所、神田出張所配備の救急車 3 台を更新する。渚出張所、川越出張所、明和出張所配備のミニタンク車は 2 か年度で更新する。



救急車
(枚方東・国庫補助)



救急車
(北山)



救急車
(神田)



ミニタンク車
(川越)



ミニタンク車
(渚)



ミニタンク車
(明和)

令和 8 年度更新

令和 9 年度更新

安全管理用資器材整備事業（主要事業）

火災現場等での活動時における隊員の安全管理に資する資器材（熱画像直視装置、オートロール・ムーリングカラー、フラッシュライト・携帯警報器）を整備する。



オートロール

ムーリングカラー



ヒートストレス対策事業（主要事業）

ヒートストレス対策の最も有効な全身冷却を効率的行うためにアイスバス、飲料水、経口補水液を配備する。



アイスバス

消防救助体制の再整備

救助事案により迅速に対応するために、阪消防隊、南消防隊に救助活動等の任務を追加する。

新しい消防技術の検討

災害対応能力の向上や安全管理体制の強化を図るために、新しい消防技術の導入について検討する。

③大規模災害対応強化事業

20,402 千円

緊急消防援助隊ブロック訓練への参加

緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練及び全国訓練に隊員を派遣し、大規模災害への対応強化を図る。

3 署合同訓練の実施

特殊な災害で大多数の傷病者が発生し、消防力が劣勢な状況を想定した訓練を実施し、災害対応能力の向上を図る。

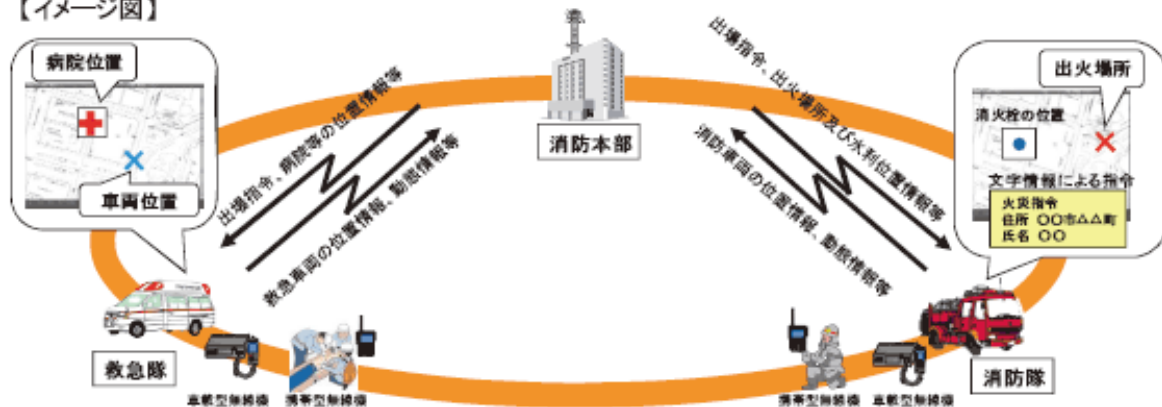
④指令管制業務充実強化事業

210,392 千円

消防救急デジタル無線更新事業（主要事業）

枚方市駅前再開発など、都市構造の変化に対応するために消防救急デジタル無線を更新する。令和8年度は調達支援業務委託を行い、令和9年度、10年度にデジタル無線を更新する。

【イメージ図】



映像通報の普及

映像通報の普及を図り、映像での現場状況把握、口頭指導の質の向上・実施率向上を図る。



基本目標 3

市民生活に安心感を与えるための救急医療体制の推進

令和 8 年度予算額 130,920 千円

①救急体制充実整備事業

46,790 千円

救急需要対策

増加し続ける救急需要に対応するため、全署所への救急隊配備や適正な配置に向けて取り組む。

患者等搬送事業者の活用

救急車の適正利用を推進し、救急車を効率的に運用するために、患者等搬送事業者の認定を積極的に行い広報に努める。

救急安心センター事業（継続）

救急車の適正利用を促進するために、救急安心センター事業に参画する。

救急救命士の養成

新たに 7 人の救急救命士を養成するとともに、指導救命士を中心とした指導・教育体制を構築する。

②救急医療連携事業

82,170 千円

ドクターカー事業（継続）

傷病者の予後の改善及び生存率並びに社会復帰率を向上させるため、ドクターカー事業を実施する。

救急需要対策のために、ドクターカー運用体制を見直すとともに、病院研修の充実を図る。

人生の最終段階にあり心肺蘇生等を望まない方への対応

人生の最終段階にあり心肺蘇生等を望まない心肺停止傷病者への救急隊の標準的活動ガイドラインを北河内地域全体で効果的に運用する。

③予防救急事業

1,960 千円

救命講習の充実

事前学習型救命講習など、救命講習を充実させるとともに、普及員の養成を推進する。

高齢者救急ガイドブックの配布

高齢者の家庭内でよく起こる事故とその対策などを記載した「救急ガイドブック」を両市の薬局に配布することにより、家庭内事故の防止に繋げる。

基本目標 4

ICTを活用したスマートな消防行政の構築

令和8年度予算額 17,408 千円

スマート消防事業

全庁的なデジタル時代の組織への変革

枚方寝屋川消防組合DX推進本部を頂点とするDX推進体制で、全庁的なデジタル時代の組織への変革に向けて取り組む。



電子申請・電子審査



オンライン講習



ペーパーレス



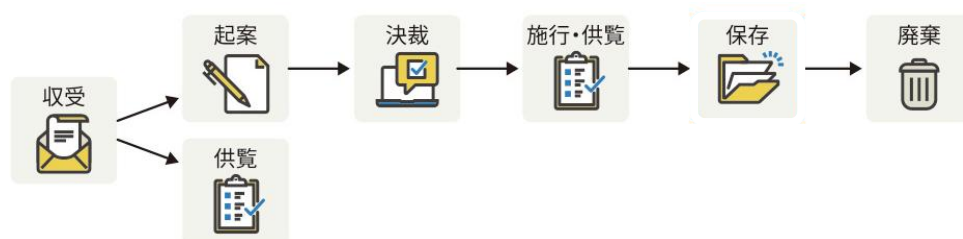
業務改善・BPR



職場環境

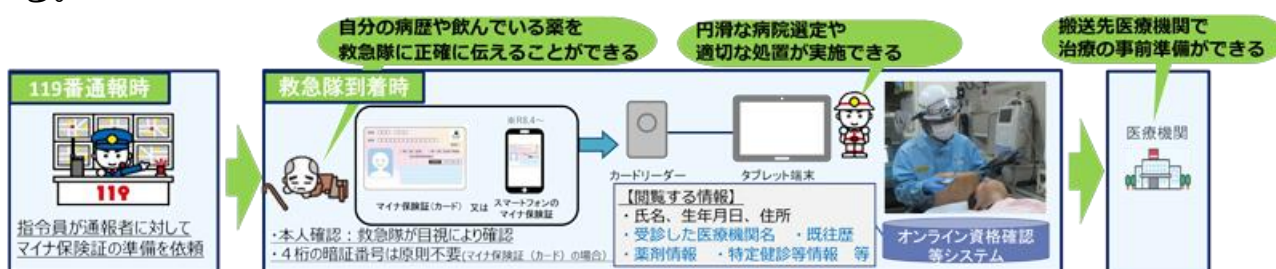
文書管理システム整備事業（主要事業）

文書の一連のサイクルを一元管理する総合的な文書管理システムを構築する。



マイナ救急事業（主要事業）

消防庁からの無償貸付資機材を使用してマイナ保険証を活用した救急活動を実施する。



広報戦略

令和8年度広報戦略に基づき、戦略的な広報を実施する。

基本目標 5

すべての職員が活躍できる魅力あふれる職場環境の整備

令和8年度予算額 118,701 千円

職場環境整備事業

働く環境の整備事業（主要事業）

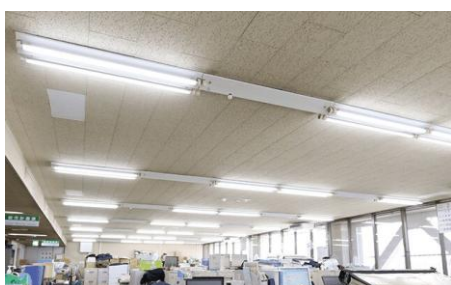
職場環境整備計画に基づき、計画的に署所の職場環境を整備する。

令和8年度は中振出張所・長尾出張所の女性環境・仮眠室個室化実施設計を行い、令和9年度に工事を実施する。



庁舎 LED 化事業（主要事業）

職場環境整備計画に基づき、各署所の照明を LED 化する。



アイデアコンテスト

職員の課題発見や創意工夫を奨励し、職員一人ひとりが組織の方向性について考えることを目的として、アイデアコンテスト（全職員提案審査制度）を実施する。

女性活躍推進の取り組み

女性職員が活躍しやすい環境整備や制度設計など、今後の施策に活かしていくための会議体を発足し、提言書をまとめる。

メンタルヘルス計画の策定

メンタルヘルス不調者の発生を予防し、職員が心身ともに健康で、活躍できる環境を整備するための計画を策定する。

持続可能な行財政運営

令和 8 年度予算額 7,578,799 千円

①組織体制整備事業

7,374,083 千円

人件費

本消防組合の予算のうち経常経費の 80%以上を占める人件費の適正な執行に努める。

定員適正化計画の策定

職員数の適正な管理のために**定員適正化計画**を策定する。

②消防施設の整備事業

204,716 千円

消防庁舎維持管理

消防施設個別計画に基づき、施設の長寿命化を図るために、計画的に消防庁舎の修繕等を実施する。